

令和5年度事業報告

はじめに

日本経済を取り巻く環境は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や欧州経済の低迷といった状況と大幅な円安の進行、イスラエル・ハマス戦争などにより、エネルギーや原材料価格高騰の影響のため、市民生活においては燃料をはじめ、食品・日用雑貨などの生活必需品の上昇が続きました。

一方、県内景気動向は人手不足や物価上昇、原料価格高騰を受けつつも、雇用情勢は全体として一部に弱さが見られるものの緩やかに持ち直しの動きが見られました。

当シルバー人材センターにおいては、地域の日常生活に密着した就業機会の提供により、シニアの社会参加、生きがいの充実、健康の保持増進の推進に努めるほか、地域社会の活性化や会員の医療費・介護費用の削減に貢献しました。また、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」を堅持しながら、会員の安全就業と適正就業ガイドラインに沿った事業を展開し、会員の安全安心を図りながら事業の効率的・効果的な運営に努めました。

そうしたなか、シルバー人材センターを取り巻く環境は、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正による70歳までの就業機会の確保が企業の努力義務になったことに伴い、会員拡大と就業機会の確保への影響を受けました。事業においては、昨年10月から施行されたインボイス制度、本年秋から施行されるフリーランス新法などによる会員の働き方への周知、会員のデジタル促進に向けた取り組みやSDGsなど様々なことに対応できるよう事務局体制の充実に努め、かつ、当シルバー人材センター事業の継続的に安定した健全経営を行えるよう財政基盤の強化にも努めました。令和5年度の事業実績概要は会員数が前年度より5人少ない531人、就業延日人員は目標60,000日人員より5,910日人員少ない54,090日人員、契約金額は3億2千862万円余、前年度比651万円余の増収となりました。令和5年度事業実績は次のとおりです。

事業実績

単位：人・件・日人・円

項目 事業名	会員	受注件数	実人員	事業別 実人員	就業延日人員	契約金額
事業実績	531	3,515	424	512	54,090	328,629,766
受託(独自)事業		3,438		314	35,117	213,015,207
指定管理事業		4		52	5,655	21,372,123
シルバー派遣事業		73		146	13,318	94,242,436
4年度事業実績	536	3,688	429	502	54,430	322,112,093
前年度比増△減	△5	△173	△5	10	△340	6,517,673

1 シニアの入会促進と各種事業の推進

シニアの入会を推進するため、会報「スマイル」、センター事業の概要を掲載した会員募集チラシ及びリーフレット等を須賀川市全世帯に回覧、配布を2ヶ月に1回程度を目安に行い、在籍会員による「ロコミ会員勧誘」の活動を実施しました。しかしながら、毎月2回の入会説明会に来所されたシニアの一部は、シルバー人材センター事業の趣旨、就業形態に賛同が得られず入会に至らない方々も多数いました。

各種事業の推進においては、役職員並びにマッチング推進員（県シルバー人材センターが雇用）が公共団体及び公社公団、一般企業等への訪問活動を定期的に行ったほか、発注者の求める就業ニーズに対応するため、

事務局と推進員等が情報共有を図り、かつ、該当会員と連携し会員の就業機会の拡大確保に努めました。

また、会員の長年培ってきた経験や技能技術を活かせる情報を会員に提供し、就業機会の確保を図るとともに、就業している会員からの要望を聞き取り、意見交換等を行い就業しやすい環境づくりに努めました。

(1) 会員拡大確保事業

センター広報資料・会員知人の口コミなどの入会促進により、新たに43名のシニアがセンター事業に賛同し入会されました。入会したシニアは70歳台前半層が多くみられ、近年はこの傾向にあります。その要因として、一般企業等での65歳までの定年延長、60歳からの再雇用を活用した制度など、さらに多種多様な働き方が可能な就業形態（パート・アルバイト）の変化によるものと考えられます。一方、退会された会員48名の退会理由は「加齢などによる就業意欲の低下」、「病気」、「家庭の事情（介護等）」の順となり、前年度と同じ傾向にあります。このため、会員拡大の数値目標とした会員580人（全シ協連目標577人）を達成することができませんでした。これらのことを踏まえ、須賀川市全世帯にシルバー人材センター事業（臨時的・短期的就業就労）が理解浸透できるような方策を検討し会員拡大と確保に努めて参ります。

また、全会員の平均年齢は74.9歳と前年度より0.5ポイント高くなり、この状況が数年続いています。

こうしたなか、高齢化の加速により入会会員の平均年齢は70.0歳、退会会員の平均年齢は75.6歳となり、入会退会年齢から見える会員在籍年数は5年5ヶ月、前年度と比較すると1年程度在籍年数が短くなりました。なお、会員入会動機は「健康維持・増進」、「生きがい・社会参加」、「経済的理由」などが主な理由となっています。会員の入会・退会及び年齢別会員状況は次のとおりです。

① 入会・退会状況

単位：人・%

項目 年度別	入会者				退会者				現存数		
	男	女	計	入会率	男	女	計	退会率	男	女	計
令和5年度	31	12	43	8.0	29	19	48	9.0	336	195	531
令和4年度	23	14	37	6.9	47	22	69	12.8	334	202	536
前年度比増減	8	△2	6	—	△18	△3	△21	—	2	△7	△5

② 年齢別会員状況

単位：人

項目 年度別	64歳以下		65～69歳		70～74歳		75歳以上		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
令和5年度	8	2	54	32	128	64	146	97	336	195	531
令和4年度	9	3	70	36	118	72	137	91	334	202	536
前年度比増減	△1	△1	△16	△4	10	△8	9	6	2	△7	△5

(2) 受託（独自）事業の推進

公共事業は長年継続的に受注していた事業量が減少するなか、新規事業の受注に助けられ、前年度を超える契約金となり、公社公団及び企業等から継続的な就業のほか、新規に就業の依頼が入り、受注件数及び就業延日人員が増加し、それに伴い契約金も3%から4%程度の増額となりました。しかしながら、個人家庭においては庭木剪定作業会員の減少や稲作農家・果樹農家の受注が減少したことが要因となり、前年度を下回る契約金となりました。また、須賀川市から指定管理者として指定を受け行っている指定管理事業は就業

者配分金の改定などにより契約金は増額となりました。公共・民間別事業実績は次のとおりです。

公共・民間別事業実績

単位：件・人・日人・円・%

項目 区分	受注件数	実人員	就業延日人員	令和5年度契約金額 (配分金・材料・事務費)	令和4年度契約金額 (配分金・材料・事務費)	前年度比
公共事業	447	314	5,246	33,943,064	31,468,651	107.8
公社公団等	127		4,743	26,080,176	25,317,954	103.0
一般企業等	1,074		19,079	107,572,891	103,868,802	103.5
個人家庭	1,790		6,049	45,419,079	47,961,815	94.6
指定管理事業	4	52	5,655	21,372,123	19,888,573	107.4
独自事業	—	—	—	—	—	—
合計	3,442	366	40,772	234,387,333	228,505,795	102.5
令和4年度	3,612	355	40,891	228,505,795		
前年度比増△減	△170	11	△119	5,881,538		

(3) シルバー派遣事業と職業紹介事業の推進

臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の基本原則を守り、新規に受注した就労に関しては、会員が長年培ってきた豊富な経験や知識を活かせるよう、事務局職員相互の連絡を密にし、会員・推進員と情報の共有を図り、会員の就労機会の拡大と確保に結び付けました。さらに、「シルバー人材センターで働く高齢者の就業日数などの上限や請負、委任、派遣、職業紹介といった就業形態別の業務方法など」を紹介する就業の冊子を、一般企業等に配布し理解を得られるように努めました。

① シルバー派遣事業

福島県シルバー人材センター連合会からの指導を得て、一般企業等からの新規受注に関しては、仕事の内容を精査し発注先に理解を求め、シルバー派遣事業を希望する会員に就労機会の提供を行いました。

また、発注者や就労会員からの意見・要望・提案などを受け入れられる体制づくりに努め事業推進にあたりました。しかしながら、発注先の生産管理の調整など様々な要因から、一般企業においては生産調整に伴う就業会員の減少などの制限を受けました。シルバー派遣事業実績は次のとおりです。

シルバー派遣事業実績

単位：人・日人・件・円

項目 年度別	登録 人員	就業 実人員	受注 企業数	受注 件数	就業 延日数	契約金額 (賃金・手数料等)	
						うち センター手数料	
令和5年度	169	146	36	73	13,318	94,242,436	14,101,813
令和4年度	219	147	33	76	13,417	93,606,298	14,156,083
前年度比増△減	△50	△1	3	△3	△99	636,138	△54,270

② 職業紹介事業

「求業者と求職者の間における雇用関係の成立を斡旋する事業（職業紹介事業）」を推進するため、広報媒体などを活用し周知活動を行いました。事業の理解浸透も低く事業拡大には至りませんでした。

職業紹介事業の事業実績は次のとおりです。

職業紹介事業実績

単位：人・日人・件・円

年度別	項目	登録 人員	就業 実人員	受注 企業数	受注 件数	就業 延日数	契約金額（賃金）	
							手	数 料
令和5年度		3	3	1	1	507	2,450,872	139,011
令和4年度		6	6	1	1	711	3,567,031	282,794
前年度比増△減		△3	△3	0	0	△204	△1,116,159	△143,783

2 安全・適正就業事業の推進

会員の安全適正就業はセンターの根幹であるため、安全適正委員会委員を中心に安全適正就業対策実施計画を策定し、組織的・計画的に取り組むほか、傷害損害事故の分析などを行い事故防止に努めました。

(1) 安全適正就業対策実施計画に基づく事業

前年度に引き続き、安全適正就業対策実施計画に基づき、会員の就業中・就業途上における事故防止の注意喚起、啓発を「事務局お知らせ版」を活用し全会員への周知に図りましたが、傷害損害事故件数は前年度より8件の増加となりました。

(2) 適正就業ガイドラインに沿った会員就業

適正就業ガイドラインに沿った業務運営を行うため、発注者からの仕事の依頼については、就業内容を詳細に把握し、就業する会員に伝達できる体制づくりを推進しました。また、請負・委託等での就業として問題がある場合には、シルバー派遣事業などに切り替え、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務にかかる就業の範囲を著しく逸脱していると思われる就業については、発注者の理解を得て是正を行いました。会員においては、ワークシェアリング（公平・平等な就業）に基づき、ローテーション就業ができる体制の構築に心がけました。令和5年度の傷害損害事故状況は次のとおりです。

傷害、損害事故状況

単位：件

		令和5年度	令和4年度	増 △減	備 考
傷害 損 害 事 故	傷害事故 ①	6	2	4	
	転倒、転落	4	0	4	庭木の手入れ作業等
	踏み抜き、刺し	0	1	△1	
	挟まれ、巻き込まれ	1	0	1	廃材のリサイクル作業
	交通事故	0	1	△1	就業帰宅途上の交通事故
	その他	1	0	1	熱中症
	損害事故 ②	5	1	4	損害額 5件/218,680円
事 故 件 数 合 計 (①+②)		11	3	8	
就業区分	就 業 中	9	2	7	
	就 業 途 上	2	1	1	

3 普及啓発事業と相談事業の推進

須賀川市民に配布する「すかがわ広報」に併せ、シルバー人材センターリーフレット（シルバー人材センターの就業形態、労働者派遣事業、職業紹介事業について紹介）、シニア募集などを掲載したチラシを配布回覧を行うとともに住宅密集地を中心にポスティング活動を実施し、ホームページ・広告媒体による情報発信、シニア相談会、地域活動としてボランティア活動を実施しました。普及啓発事業及びボランティア活動の事業実績は次のとおりです。

① 普及啓発活動

項	目
1	須賀川市暮らしのガイドブック（事業概要、仕事の引受け業務内容、会員募集）
2	須賀川市が使用する封筒の広告掲載（会員募集など）
3	福島交通バス停車時刻表にセンターステッカー、路線案内アナウンス（須賀川市シルバー人材センター前です。）
4	「シルバー人材センターのご案内」の回覧・配布（就業日数・時間、形態、シルバー派遣、職業紹介）
5	須賀川市役所ロビー掲示板を活用したお知らせ（センター事業の目的、位置図等）
6	高速バス時刻表の折り込みにセンターの広告掲載

② ボランティア活動

単位：人

項	目	月	日（曜日）	参加者	備	考
	釈迦堂川河川敷清掃作業（西川地区）	10月	16日（月）	42	普及啓発促進月間に伴う活動の一環	
	牡丹園アメニティーゾーン（牡丹園地区）	3月	7日（木）	36	普及活動の一環	
	合		計	78		
	令和4年度（3回実施）			139		

4 調査研究事業と訓練研修事業の推進

センターの事業運営を円滑に推進するため、関係機関・団体などが主催する研修会・講習・セミナーなどに多くの職員が出席（リモート、オンライン）できるように心がけ資質の向上に努めました。

(1) 調査研究事業

会員の就業に対する意識の変化や就業の実態、在籍会員の現状と問題点などについて把握するため、「会員意識調査」、発注先のご意見・要望に応えるための「発注者満足度調査」を実施し、会員の就業就労に伴うミスマッチの解消と事務局と会員、発注者との連携をスムーズに図れるよう体制づくりの一助としました。

(2) 訓練研修事業

シルバー派遣事業で就労する会員の研修会を開催し、シルバー派遣事業の基本的なあり方、派遣従事会員の心得などを習得しました。

5 働き方改革と職場環境及び事務局体制の充実

職員個々の能力を引き出し、多様性を尊重する働き方を推進するため、例規集の一部を改正したほか、職員給与規程などの変更を行い働きやすい環境と事務局体制の充実に努めました。

6 公の施設（指定管理施設）の健全な管理運営の推進

「須賀川市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例」のもと、指定管理者制度により須賀川駅前自転車等駐車場等、須賀川市老人福祉センター等2施設の指定管理者として3年目を迎え、公共施設の利用目的に沿った管理運営を行いました。須賀川駅前自転車等駐車場等においては、須賀川市担当課と連携を図り、かつ、会員の就業体制などの見直しを行い、管理運営に努めました。また、須賀川市老人福祉センター・須賀川市民温泉の2施設は須賀川市担当課と協議しながら施設の管理運営に努めました。

(1) 須賀川駅前自転車等駐車場等事業

須賀川駅前駐車場の料金が近隣の有料駐車場より低額のため、利用する市民が増えるなか、JR須賀川駅の改築に伴い西側第1駐車場が須賀川駅前東西自由通路として整備のため、工事車両の駐車場及び資材置き場として使用されたことに伴い、JR関連会社から第1駐車場の使用料を利用料としていただき管理運営をしました。一方、須賀川駅前駐輪場においては、自転車の無料点検の日を設定し整備点検を行うほか、道路交通法（令和5年4月1日）の改正により、自転車利用者の全世代にヘルメット着用が努力義務になったことに伴い、利用者への周知と安全運転について注意喚起を促し、須賀川市担当課と情報共有を密に利用者の立場に立った施設の管理運営を行いました。

(2) 須賀川市老人福祉センター・須賀川市民温泉施設事業

会員の長年培ってきた知識、経験を活かしつつ、施設利用者の安全安心を第一に考え利用者の利便性を図るため、施設の一部を修繕するほか、窓口掲示板などを活用し広報活動を行いました。これにより、障害者の利用が増加しました。また、市民温泉施設内外の防犯カメラを活用し、施設の警備・防犯に努めました。

さらに、独自事業として実施している須賀川市老人福祉センターカラオケ事業は感染対策を取りながら事業を推進し、コロナ前の事業実績に戻りつつあります。

須賀川駅前自転車等駐車場等及び須賀川市老人福祉センター等の事業実績は次のとおりです。

単位：日人・円・%

区 分	項 目	令和5年度施設の利用状況		令和4年度利用料金	利用料金 比較増減
		利用人員	利用料金		
駐 車 場 等	須賀川駅前自転車等駐車場	13,739	3,712,870	3,685,540	100.7
	須賀川市駅前駐車場	5,984	2,887,000	2,781,600	103.7
	小 計 ①	19723	6,599,870	6,467,140	102.0
福 祉 施 設	須賀川市老人福祉センター	12,929	3,635,080	4,443,480	81.8
	須賀川市民温泉	93,801	24,630,595	21,721,430	113.3
	小 計 ②	106,730	28,265,675	26,164,910	108.1
	独自事業（カラオケ利用料等）③	12,661	1,266,100	505,278	250.5
	令和5年度事業実績（①②③）	139,114	36,131,645		—
	令和4年度事業実績（①②③）	118,561	33,137,328		—
	事業実績前年度比較 増△減	20,553	2,994,317		—